

平成25年度文化庁委託事業

「国語に関する世論調査」を基にした動画作成業務

「ことば食堂へようこそ！」

敷居が高い

映像台本

4分20秒

※ この台本は、撮影時に使用したのですが、アドリブ等が加わっているため、実際の動画の台詞とは一部異なっているところがあります。また、台本という性格上、公用文式の表記と一致しない部分があります。

敷居が高い

料亭前/山川 川原田 樹 佐々木 布施川 一寛 女性 松本 さやか

映像	カット	音声
プロローグ		
1 スタジオ・ことば食堂 ・解説者:シェフあかり 板付き 話し始める ・本日のメニューを書く 顔・手元 ・書き終わって、コメント ・タイトル(ボードの手書き文字) ・本日のメニュー 『敷居が高い』		♪コミカルな音楽 解説者 「ことば食堂へようこそ！ 当店では、私たちがふだん、何気なく使っている言葉 の『本来の意味』を御提供しております。 本日お薦めするメニューはこちら！ 『敷居が高い』。」
スキット		
2 スタジオ・料亭前 ＜料亭前 大学時代の友人たちの会話＞ ・男性:山川がスマホで地図を見ながら現 れ、レストランの前に来る ・男性:佐々木 が現れる		男性:山川「(スマホの地図と店を見比べ) ああ、この 店だ。 あれっ! この店って以前、酔って皿とかグラスをたく さん割っちゃった店だー! うわー、俺、入りにくいなー。」 男性:佐々木「おーい、山川、久しぶり。」 男性:山川「おう、佐々木。久しぶりだな。」 男性:佐々木「なに、一人でブツブツ言ってたの?」 男性:山川「いやー、今日の飲み会ここだろ。 実は、敷居が高くてさ。」 男性:佐々木「えっ、山川も!

<p>・佐々木が財布の中身を確認しているとき 山川は店の方を見ている</p> <p>友人女性が現れる</p> <p>佐々木、山川、女性の頭上に？幾つかマークが現れる</p>	<p>俺も、この店、ちょっと敷居が高いんだよね。」</p> <p>男性：山川「えっ、お前も！」</p> <p>男性：佐々木「うん（財布の中身を確認する）もう少し、別のところでやってくれればよかったのになー。」</p> <p>男性：山川「佐々木も、厳しいんだこの店？」</p> <p>男性：佐々木「まあ、厳しいよー。」</p> <p>山川 「以前飲み過ぎちゃって迷惑掛けたんだよね。」</p> <p>佐々木「この店で飲み過ぎるってすごいな。」</p> <p>女性「山川君、佐々木君、久しぶりーどうしたの？お店の前で？」</p> <p>佐々木：山川「いや、ここは敷居が高くてさ。」</p> <p>女性「そうなんだ。」</p> <p>山川「前に、酔ってお店の皿とかグラスをたくさん割っちゃったんだよね。」</p> <p>男性：佐々木「ちょっと高級すぎて、今日、持ち合わせも少ないし。」</p> <p>佐々木：山川「あれ？何か噛み合わないね。」</p>
--	--

解説

3 スタジオ・解説者 画面左

- ・画面左で解説者：シェフあかりが話す
- ・解説者の横にメニューが出る

高級過ぎたり、上品過ぎたりして、入りに

くい

相手に不義理などをしてしまい、行きにく

いと書いてある

- ・相手に不義理などをしてしまい、行きに

くいを強調

4 写真付きイラスト

解説者『『敷居が高い』とは本来、『高級過ぎたり、上品過ぎたりして、入りにくい』という意味でしょうか？

それとも『相手に不義理などをしてしまい、行きにくい』という意味でしょうか？

解説者『『敷居が高い』とは、本来『相手に不義理などをしてしまい、行きにくい』という意味です。』

・佐々木の『高級過ぎたり, 上品過ぎたりして, 入りにくい』45. 6%

山川の『相手に不義理などをしてしまい, 行きにくい』42. 1%

・グラフで年代差を明示

5 スタジオ・解説者 画面中央

・解説者の横にCG文字

『敷居が高い』

『不義理・面目が立たないこと』

→ 『入りにくい』

『ハードルが高い』

『不義理・面目が立たないこと』が
消える

ボード文字

『敷居が高い』

『相手に不義理などをしてしまい, 行きにくいこと』

6 スタジオ・料亭レジ (架空)

・解説者

・右画面ワイプ内

佐々木が架空のレジ(上手)に向かって話す

・解説者 正面を向き, 困った表情

解説者「平成 20 年度の『国語に関する世論調査』でその意味を聞いてみました。

その結果, 本来の意味ではない『高級過ぎたり, 上品過ぎたりして, 入りにくい』と答えた人の方が多いました。特に, 16 歳から 39 歳では 70%以上の方が本来の意味ではない方を選んでいました。」

解説者「この言葉は, 明治期以降の文学作品を調べると, 不義理なことや面目の立たないことを前提に, その人の家に行きにくい, という意味で用いられることが多かったようです。

現在は, 『ハードルが高い』という表現と混同して, 本来の意味から, 前提となる『不義理なことや面目の立たないことをした』という部分が欠け, そこに入りにくい, という結果の部分だけを残して用いられるようになってきているようです。」

「『敷居が高い』。その本来の意味は, 『相手に不義理などをしてしまい, 行きにくいこと』です。」

佐々木:「(架空のレジに向かい) このお店, 敷居が高いので, もう少し, 安くなりませんか?」

解説者「… (笑顔でいる)。」

END